

5

ANB可とうジョイントII

特長

・適 応

地下に連続して埋設されるボックスカルバートにおいて、地震等により不同沈下が発生した場合でもボックスカルバートの機能が損なわれないことを目的として使用する耐震継手です。また、ボックスカルバートの端面にインサートを設け、可とうジョイントゴムを取り付けるので、ボックスカルバート内面の仕上がりが非常に綺麗です。

・可とう性

SBR（スチレンブタジエンラバー：合成ゴム）の弾性力に加え、伸縮可能な波型形状をしているので、不同沈下発生時にもANB可とうジョイントIIが、水平方向及び上下方向の変位に対し追従し、ボックスカルバートの破損を防止します。

・耐 久 性

可とうジョイントゴムに使用されているSBR（スチレンブタジエンラバー：合成ゴム）は、地中における耐久性に優れています。SBRは、ヒューム管のパッキン等に採用されており、長期使用の実績があります。

・止 水 性

可とうジョイントゴムを押えプレートとナットでボックスカルバートの端面に押え付ける構造になっているので、水密性に優れています。また、ボックスカルバートの端面と可とうジョイントゴムの間には、水膨張スポンジゴム（SNW）を介しているうえ、内外面をシーリングすることにより更に水密性が向上します。

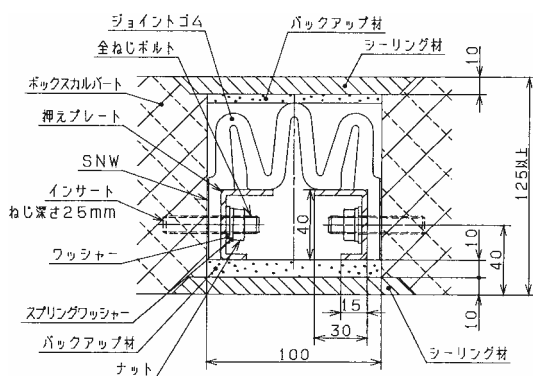
・施 工 性

全ねじボルトに可とうジョイントゴムを取り付け、押えプレートとナットで押え付ける構造なので、取り付けが簡単で効率的な施工を可能にします。

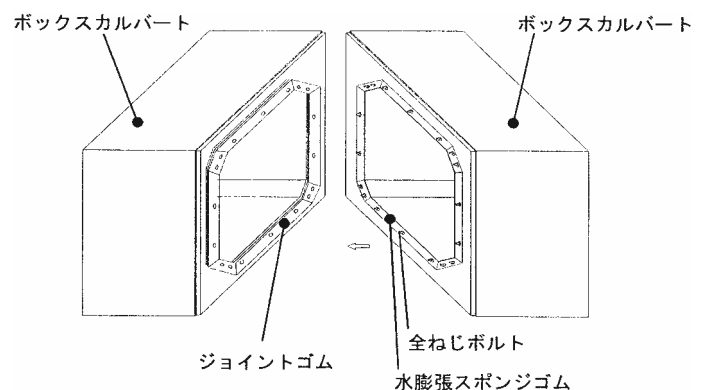
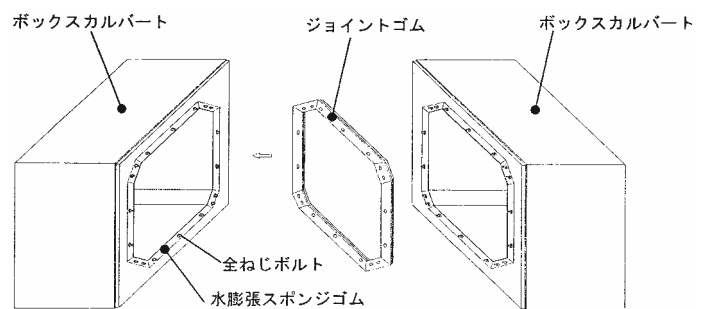
・経 済 性

施工性の改善により工期短縮が図れ、経済的です。

構 造



取り付け断面図

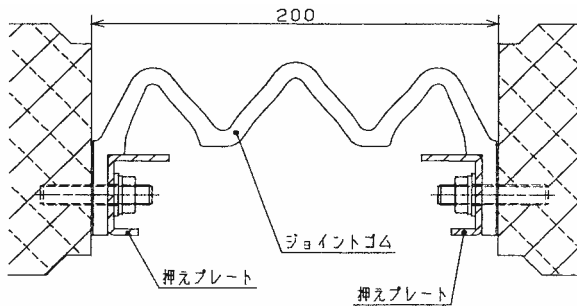


概 要 図

SBRゴム(スチレンブタジエンラバー)の物性

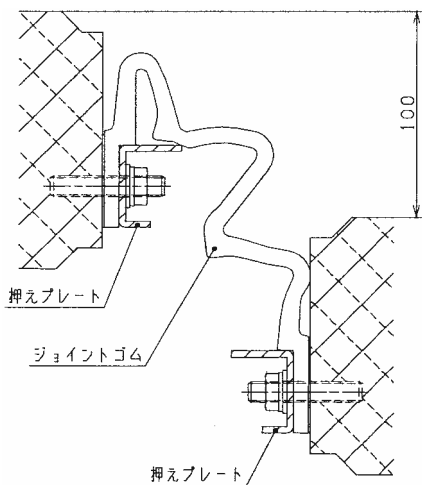
試験項目		単位	規格値	試験方法
常態物性	硬 さ	度	65±5	JIS K6253(タイプA)
	引 張 強 さ	MPa (N/mm ²)	14.7以上	JIS K6251
	伸 び	%	400以上	
耐熱物性	硬 さ 変 化	—	0~+7	JIS K6257
	引張強さ変化率	%	-20以下	
	伸 び 変 化 率	%	-30~+10	
耐 オ ゾ ン 性	—	亀裂がないこと	JIS K6259 50pphm×40℃×20%伸長×24h	

水平方向変位(100mm時)

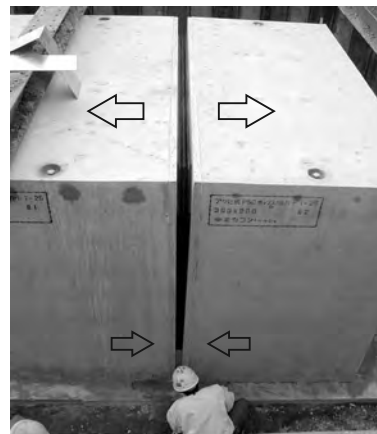


水平変位の追従性

上下方向変位(100mm時)



上下方向変位の追従性



頂版変位施工状況

1 暗渠

2 擁壁

3 自由勾配側溝(VS側溝)

4 オリジナル側溝

5 道路用一般・側溝蓋

6 水路・農業

7 法面・河川・海岸

8 その他・特殊工法

9 下水道